

谷支部へ連絡し遂に東交自動車三河街支部を結成乗車運轉手被工合して七十  
 一名中重役の縁故者一名を除くが才名の加入を見たり。かくて組織あり闘争への  
 承認と共に積極的の斗争を可成り進めし責任者として何部井田街上の三君を派  
 遣各支部より毎日積極的の應援隊を送る可き事を決定した。  
 かくて從業員の三河街支部と自動車運轉の三君と協議の結果本給の日比谷  
 並引上勤續年費の加算他十二項に亘る數額事項を決定し八月二十八日午前十一  
 時何部井田街上の三君の外從業員代表三河街支部送交交渉委員内田桑山矢野の三  
 君に依つて本社を訪ね外田桑山外川の會社代表に手交し此れとものとこの賃銀改正  
 が極めて不合理的の事ありそれ從業員の結末が致く東交の背景があるのて  
 會社側は極度に狼狽し平身依頼書を依りし事態の内満解決を以てする懸願す  
 ると言ふ態度であつた。第一回教額提出と今時に支部は戦時編成を以し支部員  
 は毎日必ず出勤する事とし吹き出しを開始した。  
 三 闘争の進展 應援隊の組織  
 支部は斗争開始と共に東交支部並に各労働団体へ應援依頼状を發し他方公に  
 會社の旧ダット旧日比谷の從業員に對する働きかけを開始した。東交各支部が  
 けても坂東坂北各支部自動車部各支部がいち早く應援に奮起し此れらの支部が  
 少心となり他労働組合をも包含する應援協力會が持たれ此の協働會の名に依り  
 會社に速かに從業員の數額を八れる様報告文を發した。會社は九月一日に回答  
 をする処重役會議の小田原評議委員にまよらず二日に延期され九月一日に回答  
 心は彌が上にも昂まり満を持して二日の間念を今又遅しと待たれる。此の期  
 支那は東交の應援隊と共に宣伝隊を編成しダット日比谷其の他のバスに對する  
 宣傳活動を積極に續けた。又家族に對しても事情を詳細に詳し此手紙を出し  
 待たれ待つた第一回教額に對する回答は二日午後一時より双方提出の時と全じ

人々によつて行はれた。それは本給最低賃金面の一円四銭を四十銭にその他は  
 三十大銭乃至三十二大銭の昇額を承認し最高のみは一円八十銭に止め車掌は最低  
 四十大銭を五十大銭に以上各十大銭乃至十八大銭の昇額を承認し他の項目について  
 は研究の上善処する旨の回答だった。  
 四 決裂のストライキ 臨前勝利解決  
 回答は本給の相當の昇額を認めたと要も尚數額とばかりの懸隔がありその上  
 他の項目は抽象的なもので到底満足し得る処にあらず全員で協議の結果漸次不  
 承認の教額提出となり三日午前十一時再教額を提出強硬なる意志を示した。會  
 社はこれに對して第一回々答はかり引の最も案作るが故に議案絶好作しと  
 の事と意見は半ば決裂状態に別れに支部に於ては會社が譲らざるは断然ストライ  
 キに入らるべく準備満端を整へ沿道住民に對するピラ三万枚を撒布した。今時  
 に大衆の極度に昂まらざる不平は半ばがサボ状態に到達した。この状態に會社は周  
 章狼狽借く所を知らず四日午後非公文會見を申込み更に一率に半期分即ち四銭十  
 二銭を昇給させ他の項目も具体化するから解決してくれと申入れども未だが支部  
 代表は断乎一蹴し會社一ヶ月分八銭(廿四)の昇給をば苦方でも考へるかの  
 と首考を促し明日正午に回答せよと迫つた。かくて情勢は刻一刻緊迫しつ、連  
 展した。五日午後一時正交回答に於て會社は遂に取し最案案を二度も讓歩列表  
 目收比較表並に覺書に依り勝利解決し今夜の全從業員大會は満場一致此れを承  
 認し、一週間の成果酬ひらるるのである。我等一同は東交支部支部並に自  
 動車本部の指導と援助他労働組合の應援に極力力を盡して今日支部の一  
 層の強化により残さぬ問題を獲得並に未組織バスの組織活動に一歩邁進せ  
 んとするものである。